

| | |
|---|--------------------------------|
| キャンパス / Campus | 宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA |
| 科目名 / Course Title | 比較文化1 / Comparative Culture 1 |
| 担当責任者 / Instructor | 小園 晃司 |
| 開講期 / Semester/Term | 前期 / SPRING |
| 履修年次 / Target Grade | 2,3,4 |
| 単位数 / Credits | 2.0 |
| 分野・必修選択別 / Category/Required or Elective | 基礎分野選択, 総合基礎科目選択 選択 / Elective |
| 科目ナンバー / Course Number | 0000-0E111 |

| ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy/Learning Outcome | 要件所属・要件年月 / Course Name・Requested Month and Date | ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy/Learning Outcome | DP値 / DP Point |
|--|---|---|----------------|
| | 経済学部地域経済学科(202004) | 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。 | 1 |
| | | 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。 | 1 |
| | | 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。 | 1 |
| | 理工学部(202004) | 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。 | 1 |
| | | 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。 | 1 |
| | | 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。 | 1 |
| | 経済学部地域経済学科(202104) | 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。 | 1 |
| | | 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。 | 1 |
| | | 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。 | 1 |
| | 理工学部(202104) | 学修目標1 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。 | 1 |
| | | 学修目標2 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。 | 1 |
| | | 学修目標3 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。 | 1 |
| | 経済学部地域経済学科(202204) | 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する | 1 |
| | | さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる | 1 |
| | 理工学部機械・精密システム工学科(202204) | 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる | 1 |
| | | 異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる | 1 |
| | 理工学部航空宇宙工学科(202204) | 人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる | 1 |
| | | 航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる | 1 |
| | 理工学部情報電子工学科(202204) | 多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる | 1 |
| | | 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる | 1 |
| | 理工学部バイオサイエンス学科(202204) | 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている(一般教養) | 1 |
| | | あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を意識して行動できる(生命倫理) | 1 |
| | 医療技術学部柔道整復学科(202204) | 幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる | 1 |
| | 経済学部地域経済学科(202304) | 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する | 1 |
| さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる | | 1 | |
| 理工学部機械・精密システム工学科(202304) | 人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる | 1 | |
| | 異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる | 1 | |
| 理工学部航空宇宙工学科(202304) | 人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる | 1 | |
| | 航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる | 1 | |
| 理工学部情報電子工学科(202304) | 多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる | 1 | |
| | 人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる | 1 | |
| 理工学部バイオサイエンス学科(202304) | 専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている(一般教養) | 1 | |
| | あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を | 1 | |

| 要件所属・要件年月 / Course Name / Requested Month and Date | ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy/Learning Outcome | DP値 / DP Point |
|---|---|--|
| | 意識して行動できる（生命倫理） 医療技術学部柔道整復学科(202304) 幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる | 1 |
| 授業の概要 / Course Description | 普段私たちが何気なく、そして当たり前のように接している日本の自然風景。それを日本の自然風景たらしめている条件とは一体何でしょうか。周知のとおり、自然と文化とは非常に密接な繋がりを有していますが、歴史をひもといてゆくと、たとえばこうした日本の自然風景をそれと認識する行為を含む、自然観の形成には実に多くの文化的要素が関わっていることに気づきます。本講義では、主に比較文化研究の立場から、特に「近代日本の自然観」を例に、その形成過程における自国文化と外来文化の衝突と融合のもたらす内的作用に着目し、近代日本の自然観の変遷について考えます。また、「文化の伝播」や「他者の役割」に関して、内外の代表的な研究の視点に触れます。そして、これらを通じて他者を尊重しつつ、独自性を追求し、各専門分野における学びを深化させることが出来るようになることを目指します。この授業は総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連します。この科目はJABEEプログラム対応科目です。 | |
| 授業の到達目標 / Course Objectives | 講義内容を踏まえて行うグループワークを通じて、国際的な視野に立って自文化を振り返り、これによって意識的に他者を知ると同時に自己への認識を深め、専門分野を学んだり社会生活を行う上で有用な独自の視点を身につけることができます。 | |
| 成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation | 方法および基準 / Method of Evaluation その他コメント / Comments | その他 / Others 50 % レポート / Report(s) 50 % この授業では期末試験は行わず、期末レポート（50%）、授業への取り組み（50%）を総合して成績を評価します。 |
| 試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments | フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments その他コメント / Comments | 授業内で解説を行う / In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback |
| 授業形態 / Course Style | 講義 / Lecture | |
| この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 / Active Learning Method in Class | 手法 / Active Learning Method in Class その他コメント / Comments | グループワーク / Group Work |
| 授業におけるICTの活用 / Use of ICT in Class | 自主学習支援（e-learning（LMS等）を活用） / Self-Study Support(Use of e-learning(LMS, etc.)) | |
| 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 / Study Required Outside of Class | 各回の学びを深めるために、事前・事後の課題に取り組みます（合計60時間程度）。 【事前学習として】 授業ではテキストを指定せず、必要に応じてプリントを配布しますが、各授業の内容を深めるために、事前に配布した資料には目を通すようにしてください。 【事後学習として】 授業で扱った内容に関連する興味対象について、授業後に引き続き調べてノートにまとめ、発表やレポート作成に役立てて下さい。「グループ発表」後、発表内容をまとめ、提出して頂くことを予定しています。 | |
| 教科書 / 参考資料（図書・映像） / Textbooks and Reference Materials | 特定のテキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布します。 | |
| その他履修上の注意点 / Notes | ○受講生の状況により授業計画を変更する場合があります。 ○本科目は「比較文化2」と共に通年で履修することを前提に授業内容を組んでいます。 ○5回以上の欠席の場合、不合格（無資格）となります。 ○授業内に回答頂く「アンケート」や、「レポート」、「ミニツツペーパー」などは、受講生の個人名が特定されない形で、研究論考のために使用させて頂く場合があります。 ○情報電子工学科情報科学コースの学生においては、当該科目は「JABEE認定プログラム」の選択必修科目であり、「学習・教育到達目標」の1-1項目に対応しています。 | |

| | | |
|--|-----------------------|--|
| 実務経験のある教員による授業 / Instructor's Practical Experience | | |
| その他外部資料等 | 外部資料1 / File1 | |
| | 外部資料2 / File2 | |
| | 外部資料3 / File3 | |
| | その他コメント / Comments | |

授業計画詳細 / Course schedule

| 曜日・時限・組 / Day・Period・Class | 担当教員 / Details of the instructor | 学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act | 備考 / Notes |
|-------------------------------|-------------------------------------|---|---------------|
| 第1回 | 小園晃司 | オリエンテーション（授業の内容と進め方の紹介。受講生の本授業における学修目標の設定。グループ分け作業） | |
| 第2回 | 小園晃司 | 「比較文化」（「比較文学」から「比較文化」へ） | |
| 第3回 | 小園晃司 | 「比較文化とは」（「比較文化」の学問的特色） | |
| 第4回 | 小園晃司 | 「文化の伝播」（文化の伝播と受容における内的作用 1） | |
| 第5回 | 小園晃司 | 「文化の伝播」（文化の伝播と受容における内的作用 2） | |
| 第6回 | 小園晃司 | （第2～5回の内容に基づく）関連資料の紹介、グループワークのテーマの確認 | |
| 第7回 | 小園晃司 | グループ発表とディスカッション（前半） | |
| 第8回 | 小園晃司 | グループ発表とディスカッション（後半） | |
| 第9回 | 小園晃司 | 「他者の役割」（自画像の獲得過程 1） | |
| 第10回 | 小園晃司 | 「他者の役割」（自画像の獲得過程 2） | |
| 第11回 | 小園晃司 | 近代日本の自然観（自然景観の捉え方） | |
| 第12回 | 小園晃司 | 近代日本の自然観（西洋自然観との対比において考える） | |
| 第13回 | 小園晃司 | 近代日本と自然景観（留日西洋人画家の目に映じた日本の風景） | |
| 第14回 | 小園晃司 | 近代日本と自然景観（「風景写真」と「風景画」において構成される景観） | |
| 第15回 | 小園晃司 | 総括および各自が設定した学修目標の達成度の振り返り/期末レポートの準備 | |